

青少年ゆずね

青少年育成湯沢市民会議 平成29年2月28日発行

青少年育成湯沢市民大会



▲ 青少年育成湯沢市民大会



明日に向かって

青少年育成湯沢市民会議

会長 川村 忠司

本年も伝統の箱根駅伝から新しい年が明けました。私自身高齢化を代表する年齢ですが、この箱根駅伝は毎年テレビを見て感激しています。

選手達の気迫はもろろんですが、学校、学友の励まし、喜びと涙、その感動の涙には無限の心が込められています。それらを率直に表現している人生、それこそ素晴らしいの一言に尽きると思います。

小学生、中学生、高校生の皆さんも、それぞれ希望を胸に秘め、自分なりに目標に向かって努力されている毎日だと思います。

昨年度を振り返ってみますと、皆さんの活躍の一年だったと思われれます。普段の学習、各種のスポーツ、そして意見発表会などあらゆる面での活躍は、県民の皆様にも深い感動を与えてくれました。

私達の青少年育成湯沢市民会議も、昨年で設立五十周年を迎えました。これもひとえに市民皆様の御協力、御支援による賜と深く感謝しております。

青少年育成湯沢市民会議も、設立当初からすれば随分と変わってきております。

少子高齢化に伴う学校の統廃合、若者の減少など秋田県は特に顕著になっていきます。

私共の市民会議も会員の減少に頭を悩ませています。これらの問題については、役員みんな慎重に協議を重ね、その対策を考えなければと思っているところです。

湯沢地区、稲川・皆瀬地区、雄勝地区は今までどおり活動していますが、市民皆様より私達の育成活動について、御意見などいただければ幸いです。

本年も例年通り、小・中・高の各学校の御協力をいただき、意見発表等を含め各種活動を行う予定です。よろしくお願ひします。

